



広報

おぐい

私のおぐに楽

く水あめ作りく

砂糖は一切使わず、麦芽ともち米を使って作る水あめ。「今でも冬になると、こうして一年分の水あめをつくるのよ」と、横山ミチ子さんと孫の拓くん（小玉川）。ほんのりと、なのにしつかりと甘い水あめは、おばあちゃんの優しい味の味でした。

2007
NO.629

3



ボランティアで役立つ技術を身につけ、活動の幅を広げる事を目的として、ボランティアサークル「さくら」の研修会が2月7日、おぐに開発総合センターで開催されました。

参加した小国高校の生徒15名は、子どもたちに大人気の犬や花、弓やサイコロなどを風船で作る技術を学びました。

また、研修会終了後には、制作した風船をグループホームひまわり寮のかたがたに贈呈し、突然の贈り物に感激する寮のかたとの触れ合いに充実感を味わっていました。

2/7

今後に役立てる技術を学ぶ
ボランティア研修会

白い森発

ぐると
情報局

2/17

雪上で元気いっぱい
小国っ子スノーランド

白い森子ども体験教室Ⅶ・小国っ子スノーランドが、2月17日、飯豊町の飯豊少年自然の家を会場に行われ、町内の小学生16人が参加しました。

当日は好天に恵まれたこともあり、参加した子どもたちは、スタッフとして参加したボランティアサークル「さくら」のメンバーと一緒に、雪上カルタとりや雪玉ストラックアウト、チューブスライダーなど、外での雪遊びを存分に楽しんでいました。



私が小国を離れて、もう今年で三十年になります。今年は全国的に暖冬ということでおふくろに一人暮らしをさせている私にとっては、何よりありがたいことです。

私が小学校の頃は、雪で国道までもがストップしてしまい、人がすれ違うときは必ずどちらかが待っていてすれ違わなければならぬほどでした。田舎の一本道は人に譲り合うことの大切さを教えてくれました。

また、私の住んでいた沼沢



井上 英典さん
(神奈川県在住 沼沢出身)

シリーズ
私のふるさとへ



地域住民だれもが自慢できる、魅力あふれる食づくりについて研究しようと、J A山形おきたまや母ちゃん市場などが主催する、食のブランド化セミナーが2月22日、アスモ多目的ホールで開催されました。

母ちゃん市場副会長の太谷ひで子さんが、母ちゃん市場についての活動報告を行った後、あだたら環境農業研究会顧問の三輪俊江さんが、「環境にやさしい野菜（ヤサイ）クル」と題して講演を行いました。

当日は、100人を超える大勢のかたが聴講に訪れ、おぐに鍋まつり鍋将軍に輝いた、母ちゃん市場の呉汁鍋の試食や、意見交換なども活発に行われました。

2/22

自慢できる食づくりを 食のブランド化セミナー



2/24

ふるさとをもっと知りたい 大宮ふるさと塾

自分たちの住む地域のことをもっと知り、地域が元気になるためには何ができるのかを考えようと始まった大宮ふるさと塾。その3回目が、2月24日、宮の森会館で開催されました。

1回目では「大宮の森と自然」、2回目では「産屋と大宮のむら組織」と題して大宮の自然や歴史を知ることから始まりました。今回は、高畠町在住で県内のグリーン・ツーリズム運動の推進役となっている遠藤周次さんをコーディネーターに、参加者が具体的な地域づくりの目標などを出し合いました。



は特に雪が多く、吹雪のときは一斉下校といって、途中で授業が打ち切られ、児童・生徒全員が長靴ばきで体育館に集められ、そこから集団下校するのでした。これが当時の生徒には大変嬉しいことでした。そしていざ外に出ると猛吹雪、視界がゼロになるときもありました。でも、一本道を歩いていくと、十メートル間隔ごとに、たしか「さいみん棒」といったものが立っており、私たちはその棒を頼りに吹雪の中を集団で下校していました。

また、雪道で忘れられないのは、高校へ通う朝、私が起きたときにはすでに弁当が作られ、家から国道までの百メートルくらいの雪野原には、カンジキで踏み固められた、きれいな一本道ができていたことです。母親が毎朝毎朝つけてくれた道です。母親の暖かい愛を感じながら私は今、教職という道についています。小国の厳しい冬は、人としての暖かい心を私たちに与えてくれているように感じます。

心つながっていますか

一人で悩んではいませんか



今年度の広報あぐに裏表紙

では、「輝けあぐにっこ」と題

して子育て支援に関する話題

を紹介してきました。

子育てには悩みや不安がつ

きものです。そして、そこか

ら深まる親子の絆や喜びもた

くさんあります。今月は、子

育てに毎日奮闘されているお

母さんのお話を紹介しながら、

一人で悩まず、たくさんのか

たに支えられる子育てについ

て考えてみます。

親子

子育てによる不安や疲れ、社会との隔絶、または子育てと仕事の両立など、様々な原因によってストレスが発生し、今、社会では親が自分の子どもを虐待するなどといった痛ましい事件が多発しています。幼い頃に虐待を受けた子どもは、大人になって、自分の子どもに同じことを繰り返すこともあるそうです。

また、子どもが成長するにつれ、「何を考えているのかわからない」とか「生活時間帯が別々で会話をする 것도 少なく なった」などと言う話をよく聞きます。子どもは徐々に活動の範囲が広がっていくことで、親が思う以上に早く成長し、親子は様々な壁にぶつかってしまうのでしょうか。

「これでいいのだろうか」「どうして家の子は……」

「こんな子に育ってくれてよかった」育児は日々苦悩や喜び、不安の繰り返しです。

子育て中のお母さんにお話を聞きました。



塚原友美さん（小国町）
夫、3歳の長女と3人家族。現在はパートタイマーとして勤務。

仕事との両立でお互いが成長

妊娠五カ月の時に夫の転勤で新潟県新発田市に引っ越した塚原さん。

「新発田市にも子育て支援センターがあったのですが、知っている人もいなかったのできっかけができず、参加することができませんでした」

育児のストレスで、ついっ
い娘の誓琉ちゃんを怒ったり、
夫とケンカすることが多くな
っていったと言います。

昨年小国に戻って来た塚原
さんは現在、パートで仕事を
しています。

「それまでの子どもと二人
だけの世界から、外に出られ
た喜びと、社会とのつながり

ができたような感じで、気持ち
が少し楽になりました」

仕事に出ると同時に、誓琉
ちゃんは保育園に入園しまし
た。始めは、保育園の入口ま
で行くと涙をいっぱい溜めて
いる誓琉ちゃんの姿を見て、
塚原さんまで涙を流していた
そうです。

「よく、その日保育園で覚え
てきた歌や踊りを見せてくれ
ます。誓琉も毎日私と二人よ
りも、保育園で友達や先生と
生活することで大きく成長し
ているようです。

仕事に行けば悩みがあった
り、体が疲れたり、育児と両
立することは大変ですが、今
は、保育園のおかげで私も誓
琉も元気にやっています。

また、近くに姉家
族が住んでいるので、
相談をしたり誓琉の
面倒をみてもらっ
たりしています。何か
あったときには助け
てもらえる、という
安心感が私を支えて
くれているような気
がします」



松橋良江さん（岩井沢）
夫と、5歳の長女、1歳の二女と
4人家族。夫の転勤で小国に引っ
越し2年半。専業主婦。

夫の支えと仲間づくり

松橋さんがインフルエンザ
にかかり、半月もひどい状況
が続いたのは昨年のことです。
娘の天花ちゃんにもうつた
ため、一時保育や誰かに見て
もらうこともできず、日中は
横になりながらも面倒をみて
いたそうです。

「その時は同居や近くに実
家がある家庭をうらやましく
思いました」

しかし松橋さんの夫は、帰
宅すると子どもたちの面倒は
もちろん、掃除や洗濯、食事
の用意を手伝ってくれました。
「私にとつて夫が家事や子
育てを手伝ってくれるのは普
通だと思っていましたが、友

達が『うちの旦那は、私が具
合悪くても何もしてくれない
のよ』と言っているのを聞い
て、私は夫の協力があるから
助かっているんだと感じま
した。なにも手伝ってくれな
かったらイライラが爆発して
いたでしょうね」

また、松橋さんは、子育て
支援センターのあそびの広場
やなかよし広場によく出かけ
ます。一日中子どもと二人だ
けの生活はやはり疲れるそう
です。

「目の届くところで子ども
たち同士遊んでくれるし、お
母さん同士だけでなく、最近
は孫育てのおばあちゃんたち
も多くて、漬け物の漬け方や
郷土料理などを教えてもらっ
たりもしています。

小国町はよそから来たお嫁
さんや転勤で来られた方が意
外と多いので、初めて参加し
た時もありやすい雰囲気でした。
田舎が合わないと言う人
もいますが、私にとってはそ
うした活動で仲間も増え、孤
独な子育てをしなくてもいい
ので良い環境です」

子育て支援

町では、子育てに対する精神的・経済的不安を少しでも取り除き、安心して子どもを産み育てられるよう、様々な子育て支援に取り組んでいます。

保育料を基準よりも低く設定しているほか、今年度は特に、民間保育所に対する一時保育や延長保育の助成も行ってきました。また、子育て支援センターの事業に関しては、これまでも実施してきた相談や交流を行う広場を継続して実施してきたほか、新たに赤ちゃんにベビーマッサージをする「タッチケア」などを行っています。

保育園

4つの認可保育園があり、一時保育や延長保育も行っています。

子育て支援センター

相談や各種事業を行っています。またセンター内の教室を開放しています。

児童室

小学1年～3年生が、放課後や夏休みなどに利用することができます。

ファミリーサポート

登録制で一時的に育児を手伝ってもらったり手伝ったりできる制度です。

あそび・なかよし広場

毎週火・木曜日に、親子が他のお母さんや子どもと交流します。

子育てサロン

町内周辺部に出向いて、親子あるいは祖父母と孫のふれあい事業を行います。

両親学級

妊娠、出産、育児に関する知識の習得のための勉強を行います。

タッチケア

赤ちゃんに語りかけながらマッサージし、親子がふれ合う方法を勉強します。

ブックスタート

健診時に絵本をプレゼントし、赤ちゃんに絵本の読み聞かせを行います。

「大変だったのは、一番上の子が二歳の時から小学校に入るまでの間、夫の転勤の関係で新潟・長野県内を何度も引越した時ですね。でも、子どもたちが買い物袋を抱えている私を見て、『少し持つよ』と言って小さな体で荷物を持ってくれたり、六つになったお姉ちゃんが、下の子のオムツを交換してくれたり、私がして欲しいと言わなくても、みんな手伝ってくれたんです。本当に助かりましたし、そんな毎日が楽しかったです」

小国に戻り子どもは六人になりました。おばあちゃんのおかげで今さんは現在も働いています。

「私の場合自分から周りの人に話しかけ、その環境に慣れるようにしてきました。あまり深く考えずに、いろんなかたに手伝ってもらったり、アドバイスをもらうなど、仲間や家族に頼ることもいいのではないかと思います」

そして、今さん家族には会話が絶えません。その日あった出来事を、毎日みんなが話をするそうです。

「他の人に『よくそんなこと話するね。家の子なんて全然話してくれない』と言われることがあります。話してくれないのではなく、聞いてあげていないのではないかなと思うことがあります。一緒に出かけたり、話をしなければ子どもたちが何を考えているのかなんてわかりませんからね」

先輩お母さんから



今香代里さん（舟渡）
京都から嫁いで、仕事をしながら
六人の子どもの子育て中。

親の愛情

子育て支援団体「トライあぐる」主催の子育て勉強室が、二月十七日、元高校教師の馬場高子さんを講師に迎え開催されました。

馬場さんの講話の中にあつたある体験談と、参加されたお母さん達のお話を紹介します。

「私がある生徒に指導をすることになった時のことです。そのお家の方は、『自分の子どもが起こしたことなので二人で行きます』ということと、両親そろって学校に来てくださいました。そして、お父さんが『大変に申し訳ございませんでした。自分の子どものことを分かっていなくて申し訳ございませんでした』と涙を流して謝罪をされました。



馬場高子さん（小国小坂町）

参加したお母さんたちのお話

- ・悩んだり、嬉しかったり、子育ては葛藤の繰り返しです。
- ・「こんな子に育てたい」という願いばかりが強くありました。しかし、思ったようにはいかず、子どもには怒ってばかりと思われているようで、寂しい気持ちになることがあります。
- ・男の子がいますが、反抗期がきたのでしょうか、急に態度が変わって悩んでいます。私は毎日怒ってばかりで大変です。
- ・不安に思ったことや心配があれば、お便り帳に書いて先生に相談しています。同居をしているのでおじいちゃんやおばあちゃんにも助けられています。
- ・1歳2カ月になる子どもがいます。教えていないのに、ご飯が終わると食器を持って片づけようとしている姿をみて、大人がしている姿をみているんだなと感じています。

私は、話が終わり部屋を後にした生徒に『○○待ちなさい。お父さんとお母さんはこんなにもあなたのことを思っているのよ。ご両親のあのような姿を見てなんとも思わないの!』と怒鳴るように言いました。するとその生徒は『お父さん、お母さん、こんな思いをさせてしまって、ほんとうに申し訳ありません』と両親に向かって言ったのです。親が、子どものことを本気で思い、考えていれば、その気持ちは必ず子どもに伝わるんだなということを強く感じた出来事でした」

たくさんの手で

馬場高子さんのお話の中に、「感情だけの『怒り』には、感情で返ってくるし、教える入った『叱り』はその人の心



に響く」という言葉がありました。子どもの気持ちを忘れ、理想だけに走ってしまうと、子どもとの心の距離が、少しずつ離れていってしまうことがあります。

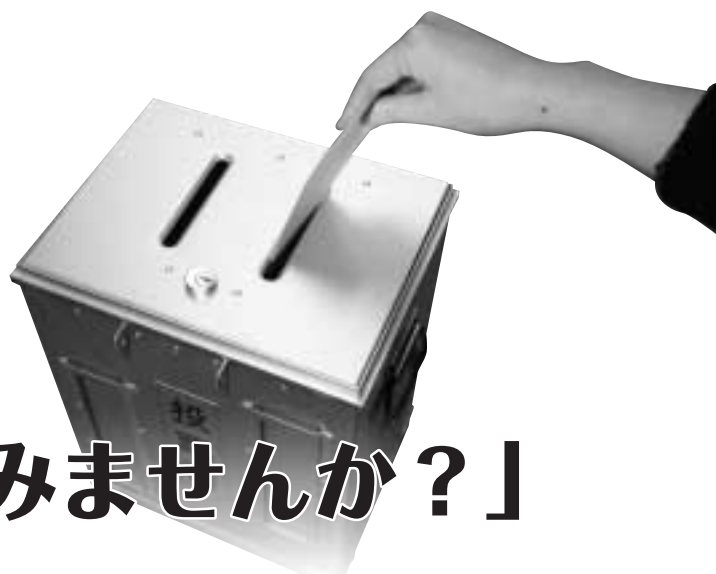
厚生労働省の人口動態統計によると、二〇〇六年の出生数は前年より約三万二千人増え、六年ぶりに増加しました。しかし、少子化や核家族化は深刻な問題であり、一時保育や延長保育の希望が増加する今、行政だけではなく、地域が一体となった子育てが重要となってきました。たくさんの手をかりて子育てをすることで、そこから新しい気づきが生まれることもあります。

子育て支援センターが行うあそびの広場などでは、孫育てのおばあちゃんの参加が多く、その場で昔ながらの知恵や郷土料理を学ぶ場面も見受けられます。そうした、小国ならではの環境を活かし、一人で悩まず、たくさんの手をかりて子育てができるよう、地域全体で子育てを支援する取り組みを進めていきます。

第16回統一地方選挙

4月8日,22日

「その思い、 声に出してみませんか？」

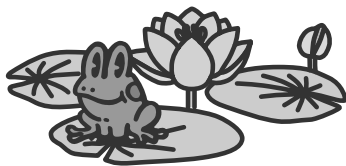


任期満了に伴う、山形県議会議員選挙と小国町議会議員選挙が、統一地方選挙として行われます。

この選挙は、私たちの代表として、明日の県政・町政を委ねる人を選ぶ大切な選挙です。忘れずに投票しましょう。

		山形県議会議員選挙	小国町議会議員選挙
告 示 日		3月30日(金)	4月17日(火)
投 票 日		4月8日(日)	4月22日(日)
投票できるかた		■投票日当日で満20歳以上の方(昭和62年4月9日以前に生まれたかた) ■平成18年12月29日以前から山形県内に住所を有するかた(ただし、12月30日以降に県内の市町村間で2回以上住所異動されたかたは投票できません。)	■投票日当日で満20歳以上の方(昭和62年4月23日以前に生まれたかた) ■3カ月以上小国町に住所を有するかた(平成19年1月16日までに小国町に転入届を出されたかた)
期日前投票 投票日当日に不在になるかたは、あらかじめ期日前投票を済ませましょう	期 間 及 び 場 所		
	役場3階選挙管理委員会事務室	3月31日(土)から4月7日(土)まで	4月18日(火)から21日(土)まで
		午前8時30分から午後8時まで	
	健康管理センター風のホール	4月5日(木)のみ	4月19日(木)のみ
		午前9時から午後4時まで	
郵便による不在者投票		身体障害者手帳の交付を受けているかたで、一定の要件に該当するかたは、郵便による不在者投票ができます。郵便による投票をされる際は、早めに手続きを行ってください。	
投票時間 (各投票所によって終了時間が異なりますのでご注意ください。)		■午前7時～午後7時まで(14箇所) ○第5投票所 宮の森会館 ○第12投票所 北部小学校 ○第6投票所 大滝公民館 ○第13投票所 五味沢活性化センター ○第7投票所 松岡農事集会所 ○第14投票所 玉川高齢者コミュニティセンター ○第8投票所 伊佐領小学校 ○第15投票所 足中克雪管理センター ○第9投票所 沖庭小学校 ○第16投票所 小玉川小学校 ○第10投票所 今市活性化センター ○第17投票所 叶水保育園 ○第11投票所 あさひ保育園 ○第18投票所 白沼小学校 ■午前7時～午後8時まで(4箇所) ○第1投票所 小国町役場 ○第3投票所 白い森ショッピングセンターアスモ ○第2投票所 小国中学校 ○第4投票所 電興(株)社寮	
開 票	場 所	おぐに開発総合センター	小国町民総合体育館
	時 間	午後9時00分開始	

■問合せ先 選挙管理委員会へ



ふるさとの川アダプト事業

山形県では、住民と行政が共に河川・海岸管理を行う試みとして、「ふるさとの川アダプト事業」を実施しています。

県管理の河川・海岸・砂防区域を対象に、県・市町村と住民等の団体が協定を締結。団体の活動に対して、市町村は収集したゴミの処分や広報等を行い、県は団体に対して助成金の交付などの支援を行なっています。

●「アダプト」とは？

アダプトは英語で「養子縁組」の意味です。ボランティアの住民や企業が「里親」になり、河川や海岸等の区域を「養子」とみなして、清掃や植栽等の美化活動や啓発活動等を定期的に行う制度です。

●対象となる河川・海岸

山形県管理の一級・二級河川及び海岸です。

●アダプト活動についての例

河川等の清掃・ゴミ拾い、親水活動（水辺のイベント）、支障木の伐採、植栽活動、簡易水質検査、ホタルの保護活動、魚の放流、学校や町内会等での学習会の開催。

●小国町で活動している団体

- ・ 舘地区自治会
- ・ 上大石沢公民館
- ・ 田沢頭自治会
- ・ 樺 クリーン隊
- ・ 宗教法人平等寺

* この他、置賜総合支庁で実施している「きれいな水辺環境創出事業」で活動している団体もあります。



草刈りやゴミ拾いをして、河川の美化活動に取り組む

●活動団体の募集

参加条件は、清掃美化活動等を行っていただける地域住民や企業等の団体で、ボランティア活動に意欲のあるかたがたです。平成19年度の募集については、4月以降にお知らせします。

■問合先 地域整備課へ



石垣正憲さん

おいしい米づくり
コンクール最優秀賞

置賜農業振興協議会主催の「おきたまおいしい米づくりコンクール中山間・山間の部」で石垣正憲さん（田沢頭）が最優秀賞を受賞しました。

コンクールでは、「安全安心」と「おいしい米」をキーワードに、栽培履歴の審査や成分調査が実施され、応募総数百二十七点の中からそれぞれの賞が決定しました。また同部門で、本間正實さん（田沢頭）、伊藤重廣さん（河原角）、渡部初男さん（町原）が優良賞を受賞しました。

全国町村会表彰
優良町村に選ばれる

この度本町が、全国町村会表彰の優良町村に選ばれました。



豊かな自然環境が温存されている本町は、その自然に育まれてきた歴史と文化を現代に引継ぎ、これらの地域資源を活かしたまちづくりを展開しています。

受賞にあたっては、ブナの森温身平が、森林セラピー基地として認定され、森林だけでなく、温泉や熊まつりなどの伝統行事、山村に伝承される芸能、山菜料理などの地域資源を活用し、より健康や癒しの効果を発揮できる小国らしい基地づくりを進めていることが評価されました。

第26回全国高校生読書体験記コンクール 「一ツ橋文芸教育振興会賞」

第26回全国高校生読書体験記コンクールで、長井高校2年の高井聡恵さん（宮の台）の「明日への記憶」が一ツ橋文芸教育振興会賞を受賞しました。このコンクールは、高校生が多くの本に触れるきっかけづくりに、と毎年行われているもので、全国から13万5,461編が寄せられ、入賞作8編の1つとして受賞されたものです。



明日への記憶

「おばあちゃん、ただいまあ！」

「おかえり！」

私の家は両親が共働きだったため、小さい頃は毎日祖母の家に帰宅していた。祖母との思い出は数え切れないほどたくさんある。庭にはミニトマトなどの野菜や花、ミントなど様々な植物が育てられていて、私はよく祖母と二人で水やりや収穫をしていた。玄關に飾る花を摘んだり、迷い込んできた猫に餌をあげたり……。そして祖母が一番よく作ってくれたおやつ、ふかし芋は私の好物であった。学校から帰って祖母と庭で遊び、二人でふかし芋を食べる、私と祖母の日課のようなものだった。『明日の記憶』を読んで、私は一番に祖母のことを思い浮かべた。祖母もまた、この主人公と同じく「アルツハイマー」という病気に冒されているのだ。

数々の思い出が今、祖母自身の記憶の中から失われつつあると思うと、私は胸が苦しい。この病気にかかった場合、初

期症状は、直前の記憶や短期の記憶がいまいになつてしまふ。今自分が見たもの、言ったこと、していたことを次の瞬間に忘れるのだ。これは私もよく実感させられる。家族で食事をしていると祖母は「醤油取つてけろ。」と言って同じものに五、六回も醤油をかけてしまった。父に何度も同じ質問を繰り返したりする。症状はこればかりではない。わけもなく人を疑うようになったり、入浴や着替えを嫌がつたり……。祖母は私に「うちの傘、お前が持つていったべ。」と言ったことがある。それも何度も。本当にこの病気は恐ろしいのだ。

でも、私以上に父や母は祖母との思い出がたくさんあるのだから、辛いに決まっている。私や兄、弟の知らない所で父と母は長時間話し合っている。大変なはずなのに、私達の前ではいつも笑顔だ。私がもし父や母の立場だとしたら……。想像できない。自分を産んで育ててくれた大事なお父さん、お母さんが、いつ子供である自分のことを忘れてしまうのか。「私は親

町長室から

小国町長 小野精一

昭和四十二年九月十六日付けの朝日新聞は、「21世紀への築城」と題する社説で、おぐに開発総合センター建設の意義を説いています。

総合センター構想は、伊藤善市・東京女子大学教授（当時）をチーフに、山形県庁と小国町のプロジェクトチームが練り上げ、経済企画庁が山村振興のモデル対策として制度化したもので、「地域開発の小国方式」と評価された構想です。

仕掛け人であり、総合センター構想の事業化に向けて東奔西走された伊藤善市先生が、さる二月十六日に急逝されました。十八日に執り行なわれた告別式に参列し、伊藤先生のこれまでのご教授に感謝を申し上げ、多くの皆さんと伊藤先生を偲び、お別れをしました。

昭和四十年に山村振興法ができ、翌四十一年に小国町は

に忘れられてしまうんだ」と思うと「辛い」という二文字ではとても言い表せない気持ちだと思う。

この本で「アルツハイマー」に冒されている主人公の、病氣にかかってからの心情を細かく知り、身につまされた。私は今までこの病氣について、患者の立場でこんなに深く考えたことがなかった。そうして思い至った。一番辛いのは、病氣にかかったその人自身なのかもしれない。

「忘れる」ということは記憶から消えてなくなる、ということである。身の回りのことを少しでも忘れまいとして、自分に関わる全てのことをメモ書きしても、書き表すことで見えてくる一面もあるのだが、病氣のせいではほとんど覚えておくことはできない。私は、これまでこの病氣は周りの人ばかりが大変だと思っていた。しかし、そうではない。病氣にかかった人もたくさん恐怖と闘っていたのだ。祖母もまたそうなのかもしれない。

「忘れられたくない。」誰しも

が思うことだろう。自分が大切に思う人にならないうさだ。私だつて忘れられたくない、大切な祖母に。「忘れられる」というのは、何か自分自身を拒絶されたような気持ちに陥る。存在を否定されるようなものだ。大好きな人に「忘れられる」こと以上に悲しいことがあり得るだろうか。

だから私は、今のこの毎日を大切に生きたい。祖母と穏やかに過ごす一瞬一瞬を。祖母が忘れてしまうのなら私が覚えていよう。祖母の分まで私が記憶に残そう。何度質問されても何度でも私が答えるから。



祖母の病氣とこの本をきっかけとして、私はいろいろなことを考えさせられた。「忘れられるのかもしれない」という気持ちと「忘れてしまうのだから」という気持ち。未来を思つてこそ起きる恐怖感。だからこ

そ、私は「今」をかけがいのなものと思うようになった。私達が生きている時間の中に無駄な時間というものはないのだと感じる。どんなにささやかな会話でも、何かしら意味があつて、その人という存在を確かめたり、その人との関係がつけられたりしていく。そうして私は、今生きていることの意味を問い続けていきたい。

彼は最後に全く記憶が無くなつてしまう。会社の後輩、自分の娘、今自分は何をしているのか、どこにいるのか……。そしてずっと寄り添い、支え続けていた妻のことも。こういう病氣なのだから仕方ないと思つて割り切ろうとすればするほど悲しく、切ない。

「いつか祖母もこんな風になつてしまうのかなあ……」と思わずにはいられない。だから私はこの主人公の妻、枝美子のように、何があつても祖母を支え続けられるような強い人間になりたい。そして日々変化する私自身や関わってくれる人たちとの一瞬一瞬を大切にしていきたい。

振興山村の指定を受けました。山村振興の戦略構想を樹立するため、伊藤先生に指導を仰ぎながら、町内の全世帯と中学生、高校生全員に三十六項目のアンケートを実施し、「生活圏構想」ができたがりました。そのシンボルの施策が総合センター構想でした。

以来、伊藤先生には各種の町づくり計画や、地域開発戦略の調査研究等にご教授を賜り、今日の小国町発展の礎を築いていただきました。

伊藤先生のご冥福をお祈りいたします。どうぞ安らかに。



催し

町議会議員選挙に係る説明会

平成19年4月22日執行予定の小国町議会議員選挙における各種説明会を行います。

■日時 3月20日(火)

立候補予定者 午前10時～

出納責任者 午後1時30分～

■場所 役場4階大会議室

■問合先 町選挙管理委員会事務局へ

県議会議員選挙に係る説明会等

平成19年4月8日執行予定の県議会議員選挙における説明会及び

立候補届出の受付を行います。

■確認団体説明会

3月13日(火)午後1時30分～

県庁6階 601会議室

■県議会議員選挙(西置賜郡選挙区)における立候補届出受付

3月30日(金)午前8時30分～午後

5時 置賜総合支庁

■問合先 山形県選挙管理委員会

置賜地方事務局(☎0238-

26-6020)へ

スプリングスポーツ教室

■日時 3月22日(木)、23日(金)

午後2時～4時(いずれか1日だけの参加も可能です。)

■場所 町民体育館

■対象者 小学1・2年生

■講師 レクリエーション

ストラクター 金子豊美氏

小国町体育指導員

■内容 ニュースポーツなど

■持ち物 内履き、タオル

■申込方法 保険料(1日あたり

18円)を添えて、町民体育館に

申し込んでください。

■申込期限 3月15日(木)

■その他 小国小学校以外の児童

は、バスの送迎があります。22

日(沖庭・北部)、23日(叶水・

白沼・伊佐領・小玉川・玉川)

■申込・問合先 町民体育館へ

障子・襖貼り講習会

■日時 3月14日(水)～16日(金)

午前9時～午後4時

■場所 総合センター

■対象者 町内に住む57歳以上の

かた

■受講料 無料

■申込方法 ハガキに住所、氏名

生年月日、電話番号を記載して

郵送、または電話。

■申込期限 3月9日(金)

■申込・問合先

〒999-1352

小国町大字岩井沢604-2

小国町シルバー人材センター事

務局(☎61-0030)へ

モンテディオ山形ホームゲーム

■日時と対戦相手

▼3月18日(日)午後1時～

Vs 京都サンガF・C

▼3月25日(日)午後1時～

Vs コンサドーレ札幌

▼4月8日(日)午後1時～

Vs 愛媛FC

▼4月15日(日)午後2時～

Vs セレッソ大阪

■会場 べにばなスポーツパーク

■その他

後援会員を募集しています。

会員になってみんなでモンテ

ディオ山形を応援しましょう。

■問合先 スポーツ山形21(☎0

23-635-9290)へ

不登校・ひきこもり

について話ませんか

■日時 3月24日(土)

午後2時～4時

■場所 長井市勤労センター

■対象者 不登校やひきこもりの

子を持つ親や、感心のあるかた

■参加費 500円

■問合先 不登校の子と親を支援

する会(☎090-6450-

4855)へ

お知らせ

募集

東関部屋を招く会会員募集

今年の東関部屋合宿開催にむけ、賛助会員の協力をお願いします。

■合宿予定 8月(10日間)

■合宿参加者 東関親方、高見盛

関、潮丸関、高見藤関など20名

■会費 1口1,000円以上

■申込・問合先 東関部屋を招く
会事務局(☎62-3501)へ

平成20年歌会始詠進歌募集

■お題「火」

■詠進要綱

- ・お題を詠み込んだ自作の短歌で一人一首とし、未発表のもの

書式図		お題「火」
〒住所	、、、、、	、、、、、
電話番号	、、、、、	、、、、、
氏名	、、、、、	、、、、、
職業	、、、、、	、、、、、
生年月日	、、、、、	、、、、、

・用紙は習字用の半紙を横長に使用し、毛筆で書いてください。

■受付期限 9月30日(日)

■郵送先

〒100-8111 宮内庁

■問合先 宮内庁式部職あてに、

返信用切手を貼った封筒を添えて、9月20日(木)までに郵送し問

い合わせてください。

お知らせ

くりえいと工房再生品の提供

千代田クリーンセンターくりえいと工房では、粗大ごみとして搬入された自転車や家具を修理再生し、提供を行っています。

■対象者 置賜在住のかた

■料金 無料

	展示期間	公開抽選日
第1回	4月3日(火)～ 5月12日(土)	5月15日(火) 午前10時
第2回	6月1日(金)～ 7月14日(土)	7月18日(水) 午前10時
第3回	8月1日(水)～ 9月15日(土)	9月19日(水) 午前10時
第4回	10月2日(火)～ 12月8日(土)	12月11日(火) 午前10時

*展示については、日曜祝祭日を除く午前9時から午後4時までとします。

■問合先

千代田クリーンセンター(☎0238-574004)へ

国民年金からのお知らせ

4月から国民年金保険料は、月額14,100円になります。

保険料の納付は、口座振替での前納がおすすめです。19年度分の保険料を一括して前納すると現金払いで年間3,000円の割引、口座振替では年間3,550円の割引となります。

口座振替で4月分から前納するためには3月9日までに米沢社会保険事務所に申し込みが必要です。

■問合先 町民課または米沢社会保険事務所(☎0238-224220)へ

あなたも認定農業者になろう

■認定農業者とは

プロの農業者として頑張っている人たちの支援するために、その経営改善計画を市町村が認定するものです。

経営改善計画(5年後の経営目標)が、市町村の基本構想に照らして妥当と判断され、認定された場合に「認定農業者」となります。

■小国町では

現在小国町では27名のかた

(1月末現在、法人含む)が認定農業者として活躍されています。

■認定農業者のメリットは

経営規模拡大のための支援や金融支援、経営改善支援など、認定農業者対象の支援措置が多く準備されています。

■問合先 産業振興課へ

地区対抗体育大会総合成績

二月二十五日に予定されていたウィンタースポーツ大会は、暖冬の影響による雪不足のために中止となり、18年度の総合成績が次のとおり決まりました。

成績	地区	点数
優勝	東南部	110
準優勝	沖庭	99
第3位	町岩東	98
第4位	北部	86
第5位	小坂町	74
第6位	南部	66
第7位	白沼	62
第7位	北東部	62
第9位	北東部東	46
第10位	東部	38
第11位	町岩西	35

■問合先 町民体育館へ

総合センター図書室から

開館時間 午前9時30分～午後6時

新刊図書

- | | |
|----------------|------------|
| ◇腸からはじめる幸せ健康法 | 新谷 弘実 |
| ◇巫道記 上・下 | 中西 清雲 |
| ◇真鶴 | 川上 弘美 |
| ◇ほかに誰がいる | 朝倉かすみ |
| ◇魔法の声 | コルネーリア・フンケ |
| ◇ひとがた流し | 北村 薫 |
| ◇失われた町 | 三崎 亜記 |
| ◇生きているだけで、愛 | 本谷有希子 |
| ◇国家の品格 | 藤原 正彦 |
| ◇ほっとけない世界のまずしさ | — |
| ◇ぼくの絵本美術館 | 堀内 誠一 |
- ※ほか多数入荷しました。

今月の休館日：毎週月曜日、3月21日(祝日)

子育て支援センターから

☆あそびの広場☆

■日程

3月6日、13日、20日子育て講

座「お別れ会」、4月10日

■時間

午前10時～11時30分

■場所

健康管理センター

■対象者

0歳から入園前のお子さんとお家のかた



☆なかよし広場☆

■日程と場所

3月1日、22日 総合センター

3月8日、15日、4月12日 おぐに保育園

時間 午前10時～11時30分

対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

*15日と22日のなかよし広場は、当初の予定と場所が変更になっています。間違いないように確認してください。

■問合先 子育て支援センターへ

求人情報

左の表は2月14日現在の新規求人の内容です。無効になっている場合もありますのでご了承ください。このほかの求人情報は、ハローワーク長井(☎84-8609)へ

偽装請負・不払い残業撲滅キャンペーン

■期間

宣伝期間 2月20日～3月20日
 相談期間 3月20日～4月20日

■実施内容

上記相談期間中に、偽装請負・不払い残業を中心に労働相談を受け付けます。なお、この期間以前・以後にも、山形県労働相談センターの通常の相談対応はしております。

■相談ダイヤル

フリーダイヤル 0120-378-060

■問合先

山形県労働相談センター(☎023-623-4010)へ

事業所名	求人数	職種	年齢	就業時間
(株)船山工務店	2人	土木施工管理技士	不問	8:00～17:00
小国町観光協会	1人	事務補助	25～40	8:30～17:15
おぐに白い森(株)	18人	医事業務・施設保守管理業務・清掃業務・夜警夜間受付・施設サービス・運転業務	不問	8:30～17:15ほか
小国町森林組合	4人	林産業務・造林・育林・販売員	不問	8:00～17:00ほか
第一生命保険相互会社坂町支部	5人	生命保険コンサル	25～55	9:00～17:00
ハイコー(株)	2人	電気工事	18～50	8:00～17:00
舟山鉄筋	1人	鉄筋加工組立作業	不問	8:00～17:00
電興(株)	1人	薬剤師	不問	8:50～17:30
K-PRODUCTS	2人	販売・整備・パソコン業務	不問	8:30～17:30ほか
(株)コメリ新潟地区本部	20人	販売員	18～35	9:00～18:00ほか
(有)村上警備保障	2人	交通誘導員	不問	8:00～17:00
合資会社山佐佐藤農機店	2人	営業・整備工	20～35	8:30～17:30
山和建設(株)	6人	スタンダード従業員・建築施工管理技士・土木施工管理技士・土木作業員	18～55	8:00～17:00ほか
遠藤建設(株)	3人	土木作業員・土木施工管理技士	21～50	8:00～17:00
猪野電気工事(株)	2人	作業員	18～35	8:00～17:00
ひさご電材(株)小国工場	5人	製造工	不問	8:30～17:30
(有)蔵王ストア	2人	食堂係・レジ係	不問	8:45～18:00
(有)小国技研	2人	洗浄工	不問	8:00～17:00
翔礼交通(株)山形営業所	1人	貸切バス運転手	不問	9:00～18:00
(株)アーネスト	10人	建設作業員	18～55	8:00～17:00
(株)太陽警備保障	5人	警備員	不問	8:00～17:00ほか
大河内産業(有)	7人	一般事務員・プラント運転手・運転手	不問	8:00～17:00
(株)斉藤建設	1人	一般作業員	不問	8:00～17:00
朝日生命保険相互会社長井営業所	5人	生命保険営業	25～55	9:10～16:50
(有)コンズカンパニー第一ホール小国店	2人	ホールスタッフ	18～40	8:00～17:30ほか
(株)横川建設	5人	営業・土木作業員・4tユニック運転手	不問	8:00～17:00
(株)技能育成センター郡山営業所	4人	半導体装置MC	不問	8:30～16:40ほか
(株)シーテック山形営業所	2人	機械設計	不問	9:00～18:00
日康産業(株)	2人	作業工	～55	8:00～17:30
(株)スタッフサービス	2人	生産技術	不問	8:30～17:30
高木工業(株)東北事業部	2人	作業工	不問	8:30～16:40ほか
(株)アイコンワールド新潟営業所	5人	作業工	不問	8:30～16:40
(有)ティーズファクトリー	2人	プログラマー	30～50	9:00～18:00
社会福祉法人小国町社会福祉協議会	4人	ホームヘルパー	20～50	8:30～17:15ほか



保健カレンダー

月日	乳幼児健診	受付時間	対 象	場 所
4/13	3 歳児健康診査	12:30～13:00	15年 8 月～10月生まれ	健康管理センター *持ち物 母子健康手帳、問診票（4 カ月児、1 歳児健康診査は除く）
4/27	4 カ月児健康診査	13:00～13:15	18年12月生まれ	
	1 歳児健康診査		18年 4 月生まれ	

■問合先 健康福祉課へ

健康診断の結果を有効に活用しましょう

今話題のメタボリックシンドロームを始め、生活習慣病を予防するには、生活の見直しが第一歩です。

社員の健康は、企業の財産です。健康診断を実施したら、その後の結果についても一度見直しをしてみましょう。

■置賜地域産業保健センター（☎0238-235515）
労働者50人未満の事業所に対し、健康相談窓口の開

設や、医師・保健師の事業所訪問を行い、健康相談・健康指導などの産業保健サービスを無料で提供します。

■（財）社会保険健康事業財団（☎023-625-8320）

政府管営保険の生活習慣病予防

健診を受けた事業所に保健師が伺い、無料で健康相談を行います。

グループ学習、電話や文書、来所などの相談のほか、一人ひとりに面接し、そのかたに合った改善方法を一緒に探します。

■問合先 置賜保健所（☎0238-223000）へ



転入や転出が多くなります

国民健康保険の届け出も忘れずに

国民健康保険に加入するのは、自営業、農業などの方、アルバイトなどで職場の健康保険に加入していない方、退職して職場の健康保険をやめた方です。

次のような場合には、14日以内に必ず届け出をしてください。

	こんなときには届け出を	持参するもの
加入するとき	他の市町村から転入したとき	印かん、転出証明書
	職場の健康保険などをやめたとき	印かん、職場の健康保険をやめた証明書
	生活保護を受けなくなったとき	印かん、保護廃止決定通知書
	子どもが生まれたとき	印かん、母子健康手帳、保険証
	外国籍の方が加入するとき	外国人登録証明書
脱退するとき	他の市町村へ転出したとき	印かん、保険証
	職場の健康保険などに加入したとき	印かん、国保と職場の健康保険の保険証
	生活保護を受けるようになったとき	印かん、保険証、保護開始決定通知書
	死亡したとき	印かん、保険証、死亡を証明するもの
	外国籍の方が脱退するとき	保険証、外国人登録証明書
その他	退職者医療制度に該当したとき	印かん、年金証書、保険証
	退職者医療制度に該当しなくなったとき	印かん、保険証
	住所、世帯主、氏名などが変わったとき	印かん、保険証
	保険証をなくしたり、汚れて使えなくなったとき	印かん、保険証、身分を証明するもの
	修学のため、子どもが他の市町村に住むとき	印かん、保険証、在学証明書
	長期出張などで別個の保険証が必要なとき	印かん、保険証

■問合先 町民課へ

輝けおぐにっ子

今月は、赤ちゃんに絵本を読み聞かせる「ブックスタート」について紹介します。



保育士から絵本の読み聞かせをしてもらう
小野晴矢くんとお母さんの恵さん（小国町）

シリーズ
11

赤ちゃんのときから絵本を読み聞かせ、親子の触れ合いをつくろうと始めている「ブックスタート」。4ヶ月検診の時には、保育士が一人ひとりに読み聞かせを行い、絵本をプレゼントしています。

「色はわかるかなと思って、絵だけが載っているものを見せたことはありましたが、すぐに飽きてしまうので、それも最近はしていませんでした。言葉はわからないと思っていたので、絵本を読み聞かせるなどということは考えたこともありませんでした。

今日、先生が絵本を読んでくれた時は、その絵本をじっと見つめ、指さす方を目で追っていたので驚きました。いただいた絵本を使って家でも読んであげたいと思います」。

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

小 渡 今 聖 那（義 朋 行子）

沼 沢 井 上 勇 太（賢 和 愛）

兵 庫 舘 佐 藤 弾（哲 浩 知恵美）

結婚おめでとうございます。

（湯 花 吉 川 徹
西 塩 川 きみ江）

（足 野 水 小 松 匠
飯 豊 町 高 橋 恵 理）

おくやみ申し上げます。

宮 の 台	佐 貝 康 治	(73)
小国小坂町	佐 藤 せ い	(88)
樽 口	渡 邊 芳 子	(99)
黒 沢	安 部 齊	(67)
西	磯 邊 ウメノ	(88)
岩 井 沢	前 田 長 三	(68)
岩 井 沢	佐 藤 ト シ	(101)
岩 井 沢	船 山 ナ カ	(96)
五 味 沢	齋 藤 三 雄	(82)

人口のうごき

人 口	男 … 4,700人(+1)
	女 … 4,965人(-6)
	計 … 9,665人(-5)
世帯数	3,291世帯(+1)
	平成19年1月31日

編集後記

町のホームページでは積雪の情報をお知らせしていますが、毎朝数字を打ち込む度に、「あれ、間違ったかな」と思うほど、積雪がありません。昨年と比較すると三分の一ほどです。例年「立春とは暦のうえのことです」と言うように、小国の二月は猛吹雪で視界を失うことさえあるほどなのです。それが今年、除雪車が走る音を聞いた日が何日あったでしょうか。すでに暖冬の影響は様々な面に現れています。いつもの春、いつもの夏はやってくるのでしょうか。

（舟山）